

2023年12月19日 14:30-16:00  
部活動の地域移行官民連携セミナー

**SPORTS DATA BANK**  
Sports Data Bank Group

# 学校部活動と地域スポーツの発展と 地域経済の関わりとは？

スポーツデータバンク株式会社  
代表取締役 石塚 大輔



地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト  
広域連携検討会議アドバイザー

## 石塚 大輔

### 【所属】

- スポーツデータバンク株式会社 代表取締役
- スポーツデータバンク沖縄株式会社 代表取締役
- 台湾思動邦有限公司 董事長兼總經理
- 一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会 代表理事 他

### 【主な委員等活動】

- **運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの作成検討会議 委員 [2017年度 文部科学省・スポーツ庁]\***
- 地域×スポーツクラブ産業研究会 委員 [経済産業省]\*
- 沖縄県部活動等の在り方に関する方針検討委員会 [沖縄県教育庁]\*
- スポーツ審議会スポーツ基本計画部会（第2期）[スポーツ庁]\*
- **運動部活動の地域移行に関する検討会議 委員 [スポーツ庁]\***
- 神戸市部活動の地域移行のあり方検討委員会 委員 [神戸市教育委員会]\*
- 沖縄県運動部活動の地域移行に関する検討会 委員 [沖縄県]\*
- 日野市地域連携スポーツ協議会 委員 [日野市教育委員会]\*
- 横浜市スポーツ推進審議会 委員 [横浜市教育委員会]
- 沖縄県部活動の地域移行に関する総括コーディネーター [沖縄県教育庁]\*
- **地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト広域連携検討会議アドバイザー [北海道教育庁]**

\* 学校部活動改革関係

---

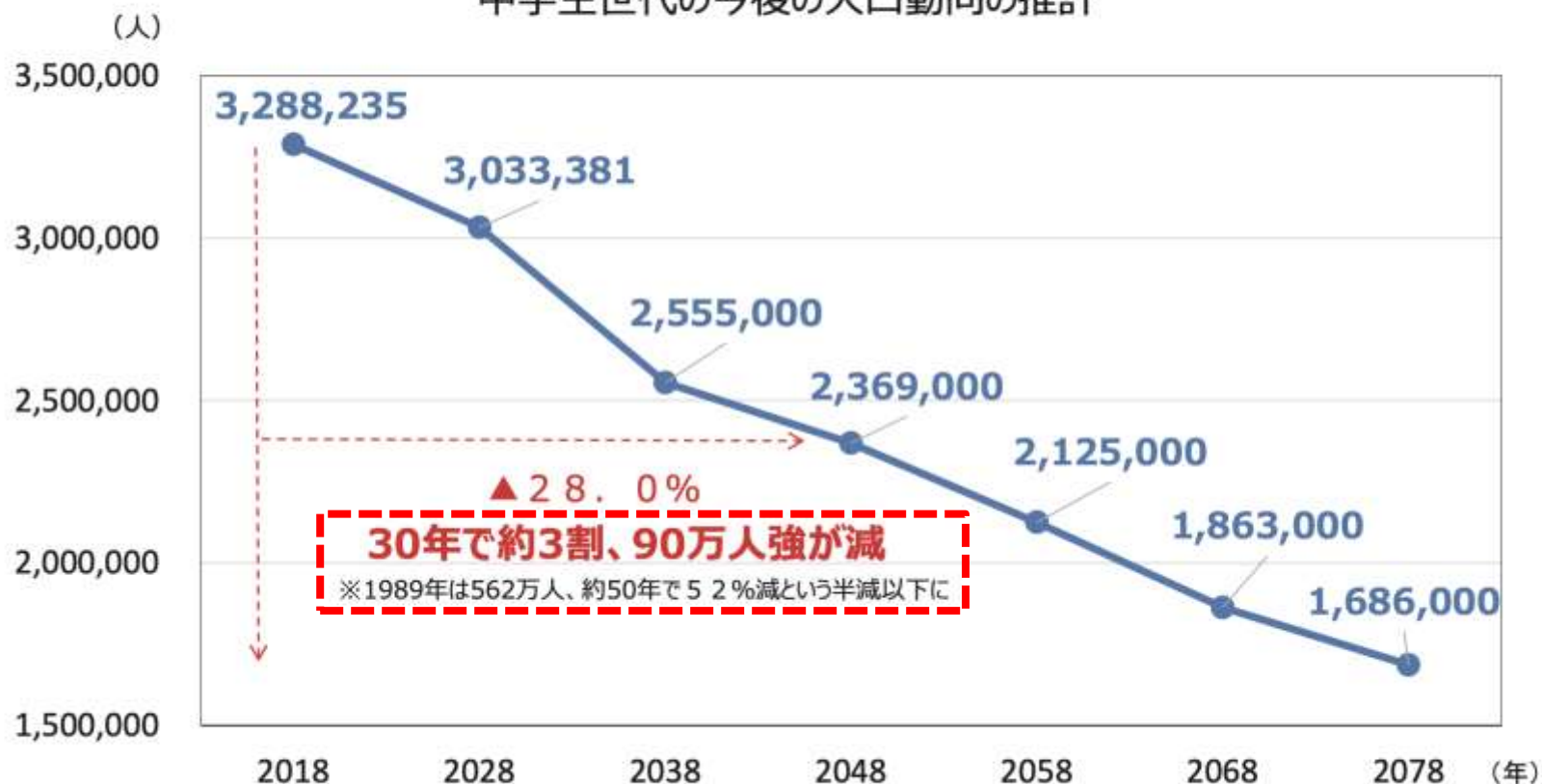
# 部活動地域移行の背景と目的

---

## 少子化・人口減少の加速化

- 学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数／学校はさらに小さくなる中、部活動は持続困難。

中学生世代の今後の人口動向の推計

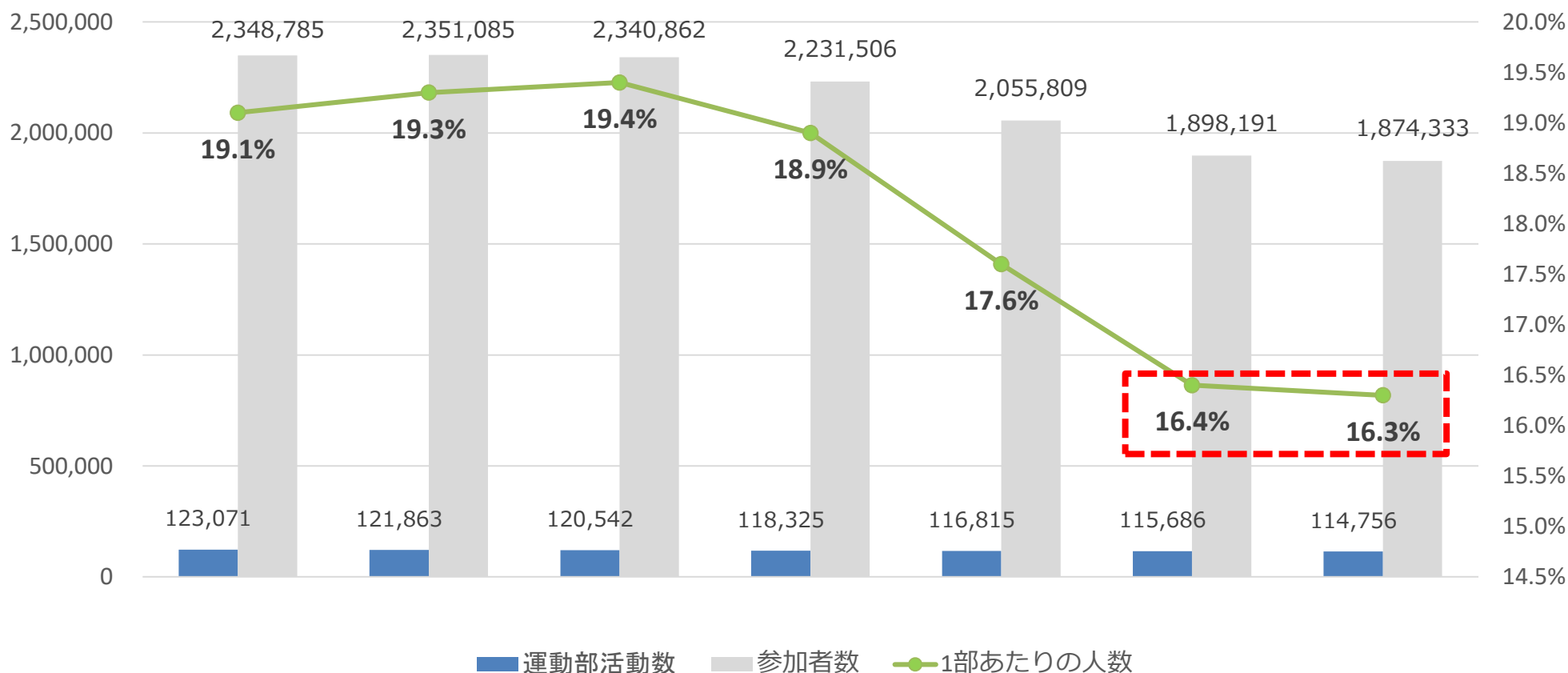


中学生世代の人口数は4月1日時点において12～14歳の者の数

厚生労働省作成「人口動態統計」月報（2017年5月）」により算出するとともに、将来の出生者数について、国立社会保障・人口政策研究所作成「日本の将来推計人口（平成29年推計）詳細結果表」の「1. 出生中位（死亡中位）推計」を基に算出。

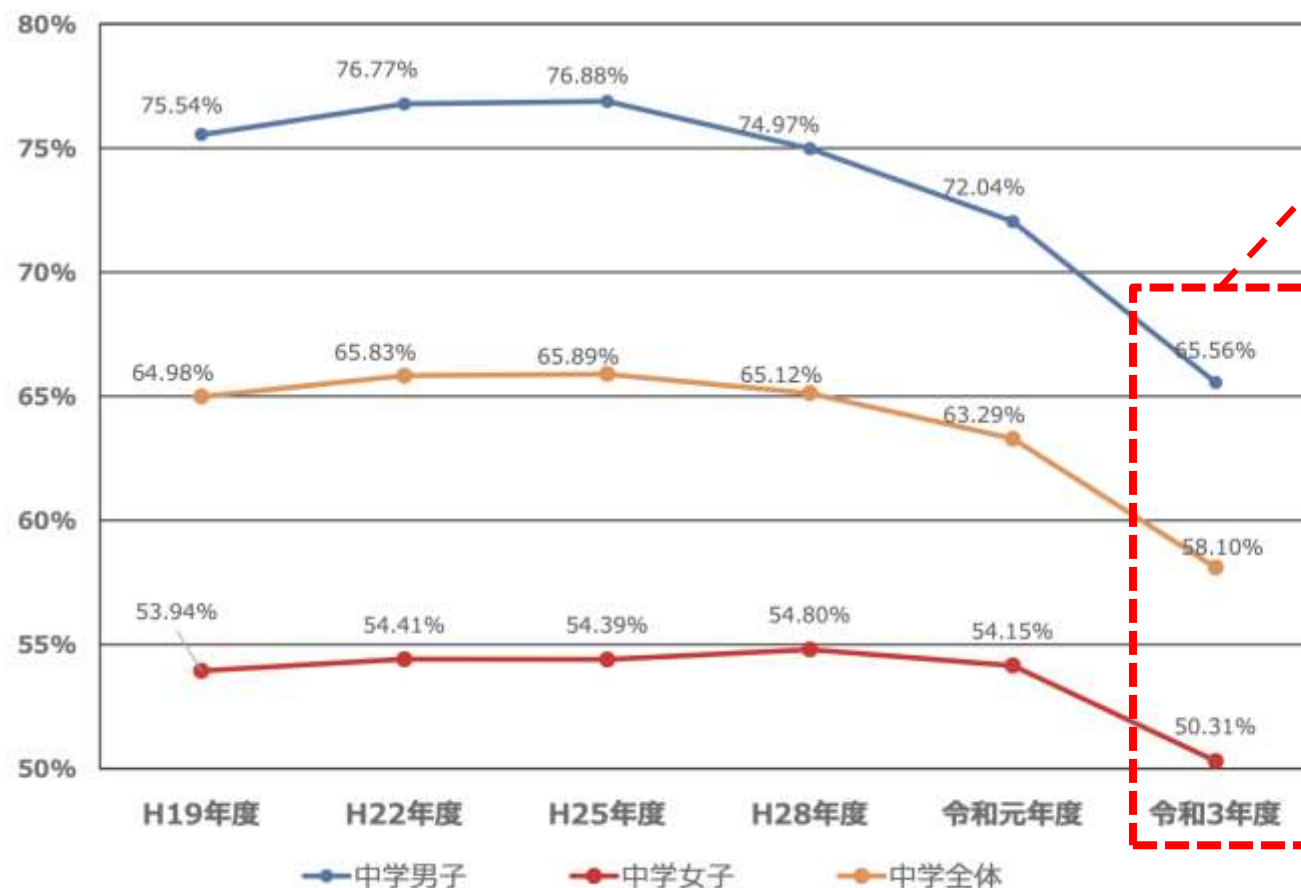
## 運動部あたりの参加人数（中学生）

令和4年度の1部あたりの参加人数は前年とほぼ横ばいの16.3（人/部）



## 運動部活動 参加率（中学校）

- 運動部活動への参加率は減少傾向にある。



## R2年度

男子：72.04%  
女子：63.29%  
全体：54.15%

## R3年度

男子：65.56% (6.58%↓)  
女子：58.10% (5.19%↓)  
全体：50.31% (3.84%↓)

(出典) 学校基本調査並びに(公財)日本中学校体育連盟の調査を基にスポーツ庁において作成

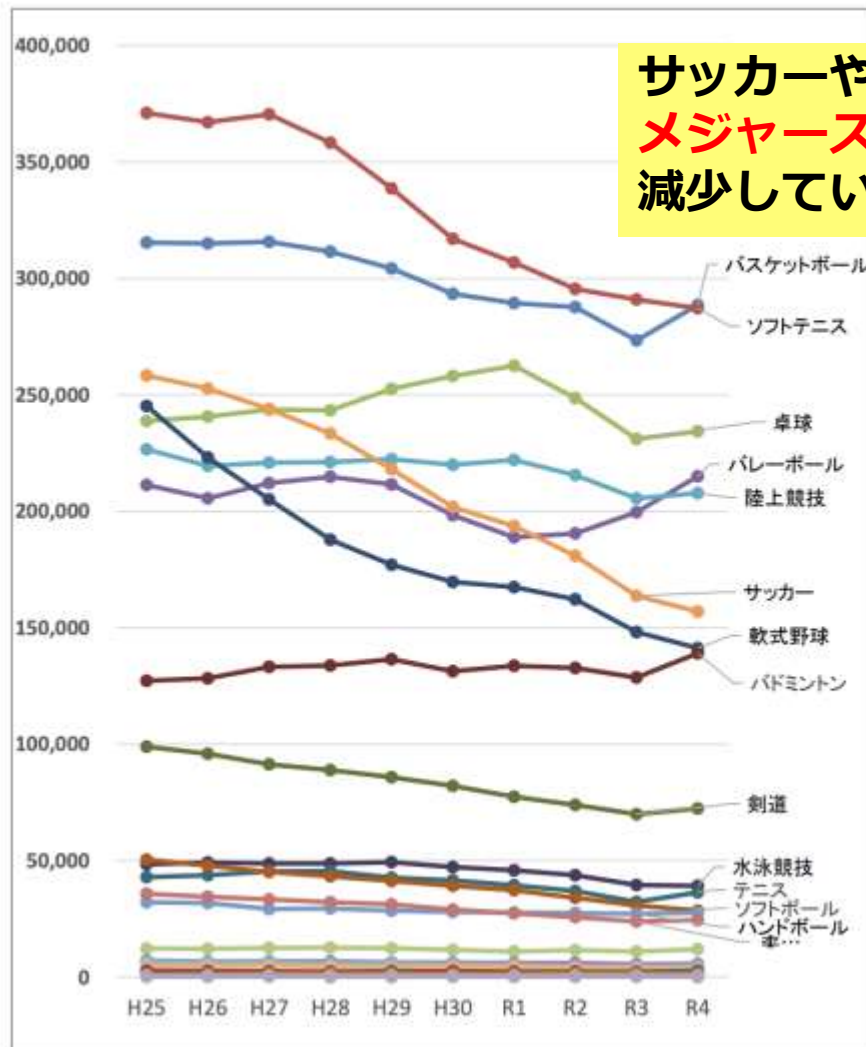
## 運動部活動に参加している中学生数の推移

■競技別生徒数の推移（男女計）

競技	H25	R4	H25との比較	
			増減率	増減
バスケットボール	315,354	288,579	-8.49%	-26,775
ソフトテニス	371,121	287,165	-22.62%	-83,956
卓球	238,854	234,399	-1.87%	-4,455
バレーボール	211,259	215,036	1.79%	3,777
陸上競技	226,692	207,808	-8.33%	-18,884
サッカー	258,291	156,892	-39.26%	-101,399
軟式野球	245,219	141,320	-42.37%	-103,899
バドミントン	127,239	139,055	9.29%	11,816
剣道	98,913	72,322	-26.88%	-26,591
水泳競技	48,358	39,225	-18.89%	-9,133
テニス	42,883	36,334	-15.27%	-6,549
ソフトボール	50,418	28,475	-43.52%	-21,943
ハンドボール	32,205	27,620	-14.24%	-4,585
柔道	35,809	24,386	-31.90%	-11,423
弓道	12,269	11,934	-2.73%	-335
ラグビー	7,152	5,767	-19.37%	-1,385
体操競技	6,387	4,547	-28.81%	-1,840
新体操	4,825	3,705	-23.21%	-1,120
空手	2,315	2,678	15.68%	363
スキー	2,641	2,020	-23.51%	-621
ホッケー	1,545	1,402	-9.26%	-143
相撲	1,343	827	-38.42%	-516
アーチェリー	763	820	7.47%	57
なぎなた	834	680	-18.47%	-154
スケート	550	510	-7.27%	-40
アイスホッケー	500	442	-11.60%	-58
レスリング	96	183	90.63%	87
フィギュア	51	26	-49.02%	-25
合計	2,343,880	1,934,157	-17.48%	-409,723

(出典) (公財) 日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」の調査結果を元に作成。

は30%以上減少している競技



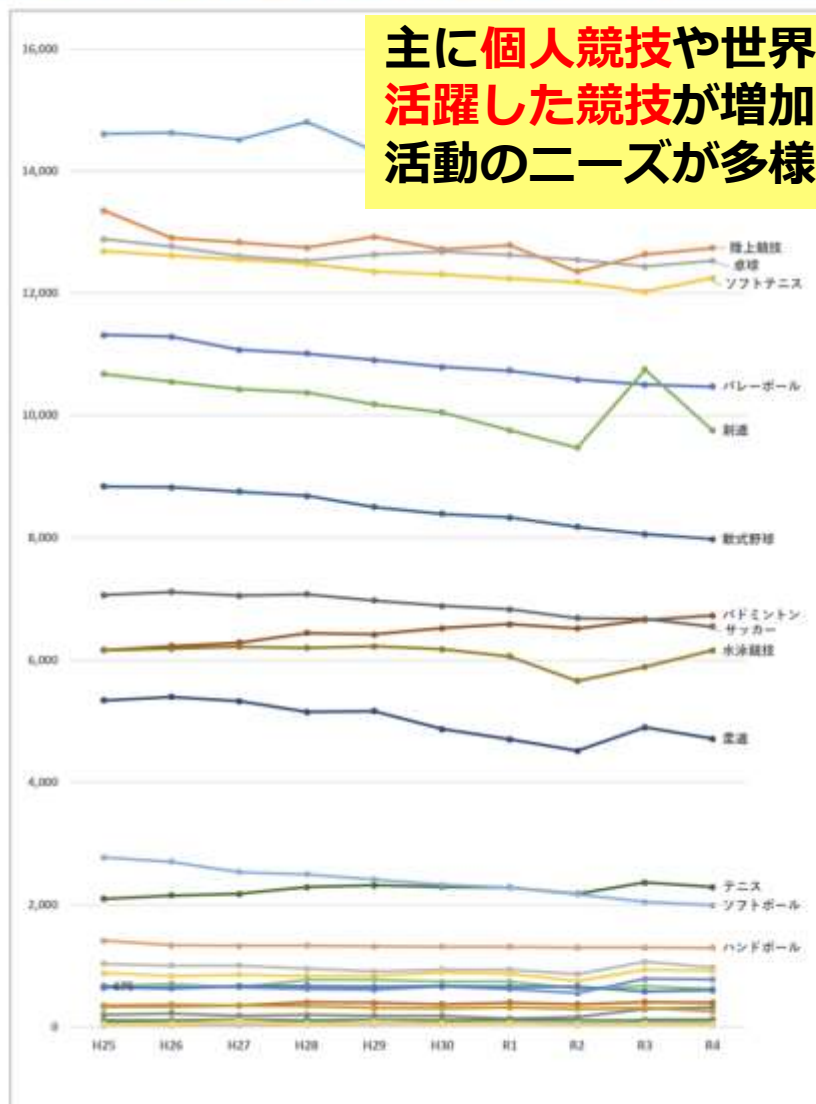
(出典) スポーツ庁講演資料

(公財) 日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」の調査結果を基にスポーツ作成

## 中学校における競技別運動部活動数(学校数)の推移

■競技別運動部活動数の推移（男女計）

競技	H25	R4	H25との比較	
			増減率	増減
バスケットボール	14,611	14,045	3.87%	-566
陸上競技	13,345	12,736	4.56%	-609
卓球	12,881	12,526	2.76%	-355
ソフトテニス	12,683	12,245	3.45%	-438
バレーボール	11,314	10,470	7.46%	-844
剣道	10,675	9,751	8.66%	-924
軟式野球	8,838	7,975	9.76%	-863
サッカー	7,062	6,546	7.31%	-516
水泳競技	6,164	6,159	0.08%	-5
柔道	5,341	4,714	11.74%	-627
テニス	3,998	3,992	0.15%	-6
ソフトボール	2,773	1,991	28.20%	-782
ハンドボール	1,415	1,298	8.27%	-117
体操競技	1,036	974	5.98%	-62
新体操	884	928	4.97%	36
スキー	675	780	15.56%	105
空手	651	627	3.69%	-24
弓道	651	604	7.22%	-47
ラグビー	353	403	14.40%	51
スケート	205	321	56.59%	116
相撲	222	257	22.50%	75
アイスホッケー	78	133	60.26%	47
ホッケー	109	112	2.75%	3
なぎなた	59	58	1.69%	-1
レスリング	25	43	60.00%	18
アーチェリー	49	37	24.49%	-12
フィギュア	39	18	53.85%	-21
合計	120,507	114,756	4.77%	-5,751



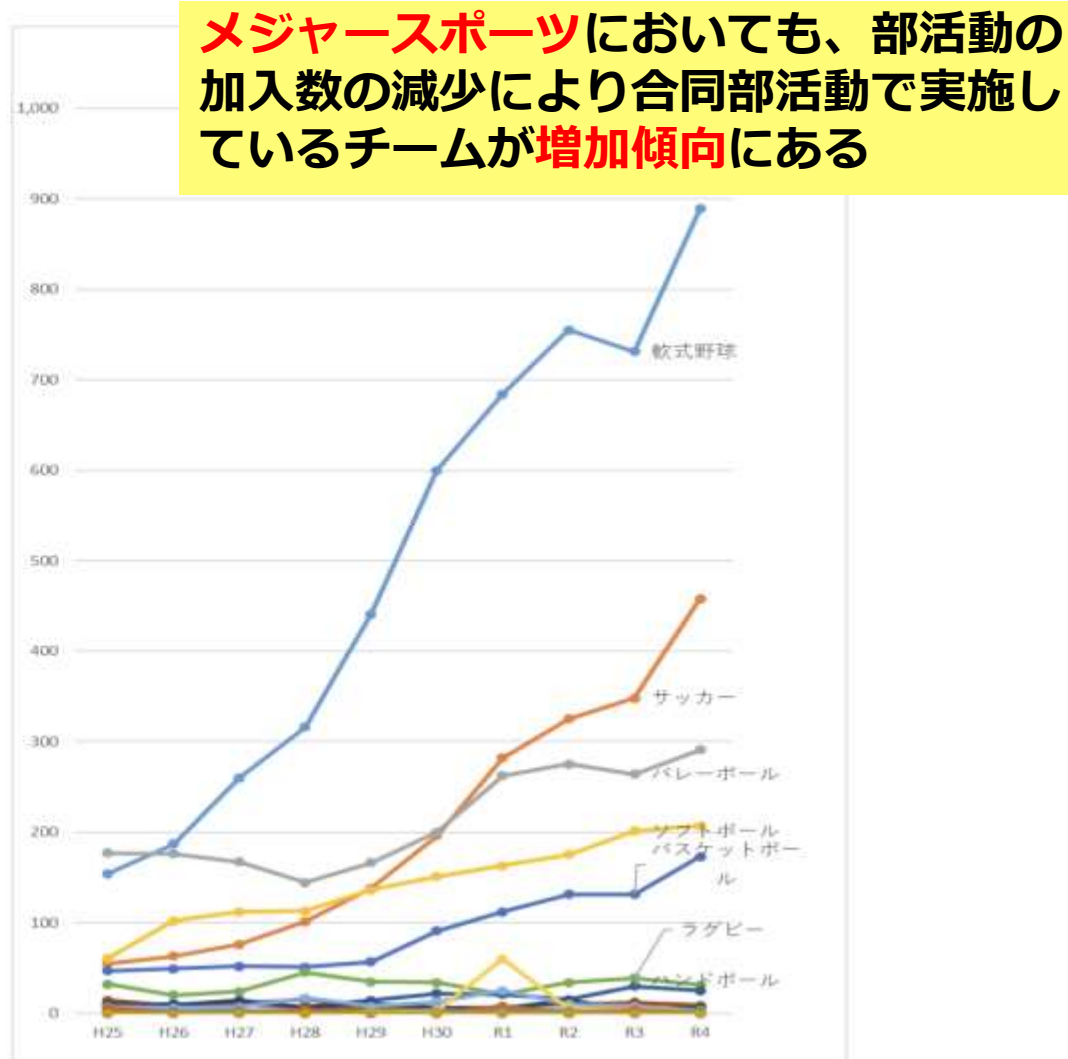
(出典) (公財) 日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」の調査結果を元に作成。



## 中学校における合同部活動実施チームの推移

競技名	H25	R4	H25との比較	
軟式野球	154	889	477.3%	735
サッカー	55	458	732.7%	403
バレーボール	177	291	64.4%	114
ソフトボール	61	207	239.3%	146
バスケットボール	47	173	268.1%	126
ラグビー	32	31	-3.1%	-1
ハンドボール	10	25	150.0%	15
アイスホッケー	14	9	-35.7%	-5
スケート	0	8	—	8
ホッケー	5	8	60.0%	3
卓球	9	6	-33.3%	-3
柔道	6	3	-50.0%	-3
剣道	7	3	-57.1%	-4
陸上競技	5	2	-60.0%	-3
ソフトテニス	3	2	-33.3%	-1
水泳競技	0	1	—	1
バドミントン	5	1	-80.0%	-4
相撲	0	1	—	1
スキー	0	1	—	1
体操競技	5	0	-100.0%	-5
新体操	0	0	—	0
空手	0	0	—	0
合計	595	2,119	256.1%	1,524

（出典）（公財）日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」の調査結果を元に作成。

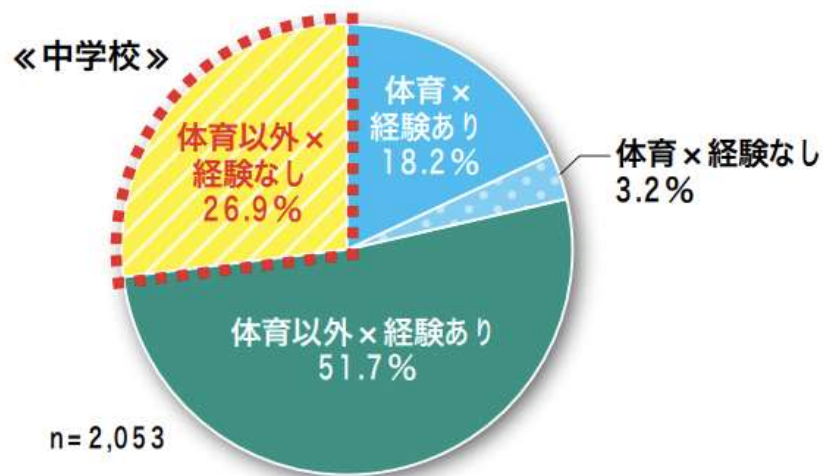


## 教師の部活動に係る勤務状況（中学校）

- 中学校教諭が**土日に部活動・クラブ活動に関わる時間は、10年前に比べて約2倍で**負担がより増加。

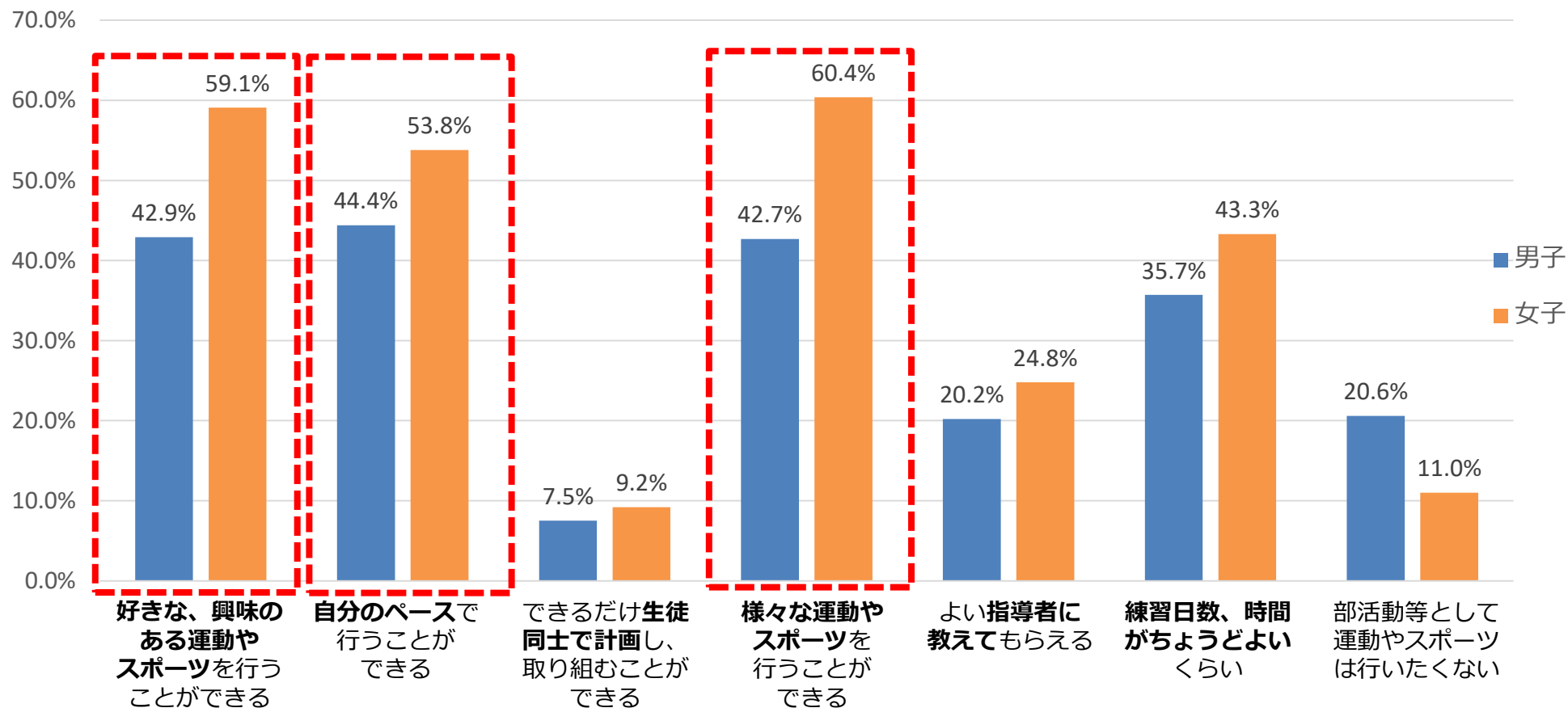
中学校教諭の1日当たりの学内勤務時間（持ち帰り時間は含まない。）の内訳

	平日			休日		
	平成18年度	平成28年度	増減	平成18年度	平成28年度	増減
<b>全 体</b>	<b>11:00</b>	<b>11:32</b>	<b>+0:32</b>	<b>1:33</b>	<b>3:22</b>	<b>+1:49</b>
a 朝の業務	0:34	0:37	+0:03	0:00	0:01	+0:01
b 授業	3:11	3:26	+0:15	0:00	0:03	+0:03
c 授業準備	1:11	1:26	+0:15	0:05	0:13	+0:08
d 学習指導	0:05	0:09	+0:04	0:00	0:01	+0:01
e 成績処理	0:25	0:38	+0:13	0:03	0:13	+0:10
f 生徒指導（集団）	1:06	1:02	-0:04	0:00	0:01	+0:01
g 生徒指導（個別）	0:22	0:18	-0:04	0:00	0:01	+0:01
<b>h 部活動・クラブ活動</b>	<b>0:34</b>	<b>0:41</b>	<b>+0:07</b>	<b>1:06</b>	<b>2:09</b>	<b>+1:03</b>
i 児童会・生徒会指導	0:06	0:06	±0:00	0:00	0:00	±0:00
j 学校行事	0:53	0:27	-0:26	0:02	0:11	+0:09



- 教員の勤務時間の増加
- 経験のない種目の顧問による負担

## 運動部や地域のスポーツクラブに所属していない生徒が どのような条件があれば、運動部活動に参加したいか



## スポーツに対するニーズの多様化

## 学校部活動の課題

- **全国的に少子化・人口減少が加速している**
  - ▶□ 1運動部あたりの人数の減少（学校単位の活動が難しい）
  - ▶□ やりたい部活動が選べない（設置数の減少等）
- **教員の負担軽減**
  - ▶□ 専門的指導に対する負担
- **スポーツ（文化）活動に対するニーズの多様化**

地域の持続可能で多様なスポーツを一体的に整備し  
**子どもたちの多様な体験機会の確保が必要**  
**スポーツ・文化活動による「まちづくり」**

## 学校部活動

【位置付け】学校教育の一環（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

## 学校部活動の地域連携

■合同部活動の導入や部活動指導員等の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	部活動指導員等、関係校の教師 (※アスリート・アーティスト等の人材を含む)
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■少子化の中、持続可能な体制にする必要  
(学校や地域によっては  
存続が厳しい)

■地域の実情に応じた  
段階的な体制整備

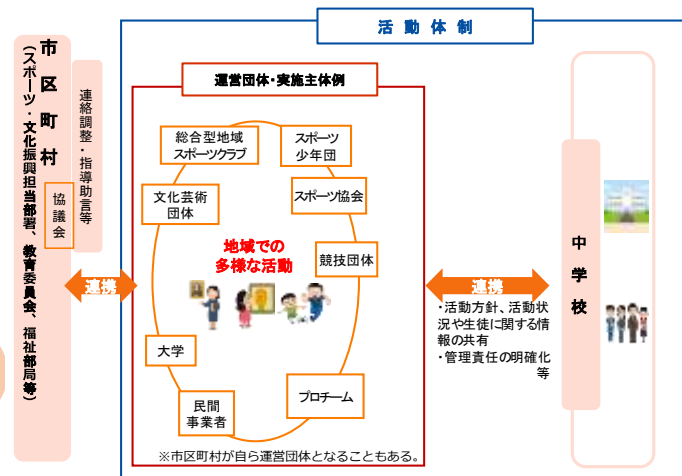
地域の実情に応じ、  
当面は併存

## 休日の地域クラブ活動

【位置付け】学校と連携して行う地域クラブ活動  
(法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術)

■地域の多様な主体が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	①地方公共団体(※複数地方公共団体の連携を含む) ②多様な組織・団体(総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等)
指導者	地域の指導者(一部教師の兼職兼業)
参加者	地域の生徒(※他の世代と一緒に参画する場合を含む)
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等が有する施設
費用	可能な限り低廉な会費+用具、交通費等の実費
補償	各種保険等



地域内のスポーツ環境は属性に応じていくつかの位置付けがされている。その位置付けの中に新たに作られるのが「地域クラブ活動」といったイメージであるが、地域の実情に合わせた取り組みが必要。

## 学校教育 [学校管理下]

元々ある

### 学校部活動 (運営主体：学校)

学校管理下で活動されているスポーツ・文化活動。主に教員が顧問として指導にあっている。

## 社会体育（生涯スポーツ） [学校管理下外]

新たな仕組み

### 地域クラブ活動 (運営主体：市・団体・民間)

学校部活動に代わり、学校管理下外で活動されるスポーツ・文化活動。  
※部活動の地域移行

元々ある

### 地域スポーツ・文化活動 (運営主体：地域団体)

地域の各種団体が運営している地域スポーツ・文化活動

スポーツ少年団

総合型SC

町クラブ（武道館系）

### 各種スクール・教室 (運営主体：民間企業)

プロチームや民間企業等が実施しているスポーツスクールや文化教室等

スイミング

アカデミー

ダンススタジオ

元々ある



市内生徒

## 3つの課題：①人材 ②財源 ③管理 +α (ICT・DX)

事務局運営	制度設計	計画策定	各種調査
地域事例	庁内調整	資料作成	補助金獲得

(クラブ・指導者・施設)

### ①人材 (指導者)

人材・指導プログラム

- [地域指導者]**  
総合型地域スポーツクラブ、スポーツ関係団体 等
- [プロスポーツチーム]**  
アカデミー・スクールコーチ・トレーナー  
セカンドキャリア 等
- [企業チーム・大学・団体 等]**  
実業団選手・コーチ・トレーナー、大学スポーツ、OBOG 等

指導者マッチングシステム

#### 地域指導者の発掘・登録・評価

指導者プロフィールのリストを公開。  
指導者に求める要件や指導者の特徴等が確認できるサービスを提供  
(システム構築中)

### ICT・DX

指導の効率化・データ分析

**遠隔・デジタル指導による効率化**

- デジタル遠隔指導
- 学校体育施設のICT化による利便性の向上 等

**データ取得による分析**

- データ取得による総合トレーニングプログラム(処方)の提供 等
- \* 傷害予防、フィジカル

**コンディショニング管理**

- データ蓄積とモニタリングによるコンディショニングの可視化 等

地域クラブ活動推進  
総合プラットフォーム

SPORTS DATA BANK  
Sports Data Bank Group

### ②財源

資金調達の仕事・手段

- 企業版ふるさと納税
- 企業協賛・スポンサー
- クラウドファンディング
- 学校体育施設における事業展開

### ③クラブ運営管理

クラブ運営管理システム

**安全な運営基盤の提供・ガバナンス強化**

クラブ情報・評価、出欠登録、活動実績、決済機能、スポンサー広告などをプラットフォームで一元化管理。

### ③安全管理

指導者研修・認証制度

**安心安全な指導・指導者の質向上、保証制度の導入**

指導者研修(認証プログラム)として、技術指導以外に必要な知識習得を促すeラーニングの学習環境を提供。指導者の資質向上によるクラブ&指導者評価・認証制度を整える。

### ③施設管理

学校体育施設の活用

- 予約管理システム**  
公共施設の予約システム、使用料のキャッシュレス 等
- 指定管理・運営**  
学校体育施設の指定管理制度の民間委任による運営